

令和6年度第1回職業能力開発審議会総会 会議要録

- 1 日 時 令和6年12月2日(月) 午後2時から午後3時まで
- 2 場 所 県庁10階 特別大会議室
- 3 出席者 (委員15名中14名出席 特別委員3名中 1名出席)
- 4 次第
 - 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 議 事
 - (1) 徳島県職業能力開発校（テクノスクール）のあり方について
 - (2) 審議の進め方について
 - (3) その他
 - 4 閉会

(配布資料)

- 資料1 徳島県職業能力開発校（テクノスクール）のあり方
- 資料2 審議の進め方
- 資料3 今後のスケジュール

5 議事の概要

(事務局)

徳島県職業能力開発審議会設置条例により、委員の2分の1以上の出席が必要ですが、本日は委員総数15名中14名の御出席をいただいております、本会が成立しておりますことを報告いたします。

【経済産業部 大学・産業創生統括監兼副部長挨拶】

【事務局から新任の委員の紹介】

(事務局)

それでは、議事に入りたいと思います。ここからの進行は、太田会長にお願いいたします。

(会長)

ただいま、事務局から進行を委任されましたので、今後、審議を進めて参りたいと思います。

(会長)

本日、本審議会開催に先立ち、黄田経済産業部長から、「徳島県職業能力開発校（テクノスクール）のあり方について」諮問書を受け取って参りました。皆様のお手元に諮問書の写しを配布しておりますので、御確認頂きますようお願いいたします。本審議会において、答申に向けて、しっかりと議論して参りたいと思います。皆様、御協力よろしくお願いいたします。

それでは、事務局から、議題1の徳島県職業能力開発校（テクノスクール）のあり方について、説明をお願いします。

【事務局から徳島県職業能力開発校（テクノスクール）のあり方について（資料1）について説明】

(会長)

ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明に対し、何か御意見、御質問はありませんか。

(委員)

課題3の官と民との重複した訓練科の解消というところで、実際どのような訓練科が重複しているのでしょうか。

(事務局)

中央テクノスクールの美容科が徳島市内にある美容専門学校と重複しております。

徳島工業短期大学と南部テクノスクールの自動車整備科、西部テクノスクールの自動車整備科が重複しております。

(委員)

官と民で重複する業種ということで、美容組合が美容学校を経営しております。現在、穴吹カレッジと徳島県美容学校と、テクノスクールの3校で生徒が約70名在籍しております。しかし、3校合わせた定員は100名となっており、70名の学生を3つの学校で取り合いをしている状況です。

その中で、入校生を集めることは本当に大変で、県立美容学校も昨年は入校生が11名と少なく、現場の美容師の意見を取り入れるため、現役の美容師に講師を依頼し、技術を教えていただくなど、学校の特徴を出すようにいたしました。その結果、今年は20名の生徒が入学いたしました。

これから少子化になっていく中で、学生を集めることは厳しいと思います。テクノスクールと県立美容学校そして穴吹カレッジ、3校が共存することが難しい現状なので、是非とも皆さんで考えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

(会長)

具体的な進め方については、次の議題でお話しさせていただきたいと思います。

(委員)

数字の確認をさせていただきたいのですが、「1 現状」について、令和6年3月31日現在の入校率が直近の数値ということですのでよろしいのでしょうか。おそらく、中途退学などあるかと思いますが、正確な数字か確認させていただきたいと思います。また、4月に入学した学生が反映されているのでしょうか。

(事務局)

就職率が令和5年度末ですので、令和6年3月31日現在ですが、入校率は令和6年4月1日の入校生となっております。

(委員)

それでは、この資料の数字は直近の数字ということですのでよろしいですね。

(事務局)

よろしくお願いします。

(委員)

中途退校を含むと現在の在校生はもっと少なく、現在も変動しているということでしょうか。

(事務局)

はい。途中で就職が決まって退校する訓練生もおりますので、この入校率からは下がっている状況です。

(会長)

確認ですが、就職率だけが、令和6年3月31日現在ということで、入校率の表の上に令和6年4月1日時点と記載する必要があったということでしょうか。

(事務局)

はい。

(委員)

テクノスクールから企業に対する就職あっせんにつきまして、どのような流れになっているのでしょうか。

(事務局)

就職のあっせんにつきまして、テクノスクールは無料で就職先をあっせんできる訓練施設となっておりますので、企業から直接テクノスクールに求人が来ます。

訓練生の希望を聞き取った上で、きめ細やかに指導員とやりとりし、就職ができるような体制が整っております。

(委員)

テクノスクールに求人を出している企業の中から、訓練生の就職希望を聞き取り、調整をしながら進めているのですね。

テクノスクールから企業に投げかけることもあるのでしょうか。

(事務局)

訓練生が、県内事業所に就職した場合、来年もテクノスクールの訓練生に来て欲しいという要望もありますので、ハローワークを通じてより、直接企業から求人が来るところは強みになっていると思います。

(委員)

私どもも企業とお話させていただく機会があり、その中で、テクノスクールの卒業生が来なくなった、お知らせが止まってしまったという話を聞いておりました。入校者が減っているというのは、資料にもありますし、お伺いしておりましたけれど、どのような流れで就職しているのかがわから

ないまま私も回答できませんので、現状をお伺いできて良かったです。

(事務局)

テクノスクールから企業にアプローチできるよう検討していきたいです。

(会長)

その他、何か御意見等ございますか。

【各委員からの意見なし】

(会長)

それでは、ただいま事務局から説明があった検討事項、委員の御意見を踏まえて、今後具体的な審議を行うこととしたいと思います。

続きまして、事務局から、議題２の審議の進め方について説明をお願いします。

【事務局から審議の進め方について（資料２）について説明】

(会長)

ありがとうございました。ただいまの事務局の説明に対し、何か御意見、御質問はありませんか。

(委員)

次の資料のスケジュールにも関係することになりますが、小委員会で議論するスピード感というのは、いつ頃ぐらいまでを考えられているのでしょうか。スケジュールを見ると２月中旬には素案を報告となっておりますので、１２月、１月に集中的に審議するということでよろしいでしょうか。

(事務局)

このスケジュールにもあるように、できるだけ速やかに集中して御審議いただきたいと考えております。

(委員)

２月中旬までに終わるのではなくて、並行して県議会に素案の報告をするなど、小委員会を設置したまま、断続的に審議されるということですか。

(事務局)

小委員会は答申をいただくまで、設置をお願いしたいと思っております。

(委員)

この小委員会と母体となる総会の関係が設置規程１にはありますが、設置期間（設置規程７）に記載されていないように思うのですが、どのような関係になるのでしょうか。

この流れだと、小委員会で話し合い、直接、知事に答申を行うというように読めてしまうのですがいかがでしょうか。

(事務局)

小委員会でお諮りさせていただいたことは、必ず審議会で議決の上、進めさせていただきます。

(委員)

スケジュールにはあるんですが、規程には文言がないなと思ひまして。

(事務局)

小委員会の設置規程ですので、審議会での御審議には差し支えないと考えておりますが、いかがでしょうか。

(委員)

分かりました。

(委員)

冒頭で御紹介いただいた諮問の文章で、経済・産業界から目まぐるしく変化する社会情勢やデジタル化への進展という、幅広いテーマで諮問を受けましたが、実際にどれくらいまでの見直しを予

定されているのでしょうか。

(会長)

小委員会が設置されてから具体的にお話しするような内容になりますので、差し控えさせていただきます。小委員会が設置された後で、そういった話も踏み込んで審議していきたいと考えております。

(事務局)

社会経済情勢が変化する中で、課題・議題として、人材育成の分野が広がってきております。人手不足が顕著と言われているのが介護であったり、保育であったり、バスなどの運転手であったり、様々な分野があります。

一方で、ベースとなる産業を支える、技能者や技術者も後継者が生まれないと事業継続できないという部分も当然あります。

こういったことは、全面的に引き受けて、まず議論して、公共職業訓練が官と民とで役割分担する中で、何をテクノスクールで行うのか、施設内訓練だけでなく、この3つの柱のうちの1つであります民間への委託で行う訓練というのも当然ございます。いろんな手法を組み合わせ、まずは検討し、最終的には実施可能なものでまとめていきたいと考えております。

それが今回の再編でお願いしたいことであり、また、さらに社会情勢は将来に向けてどんどん変わっていきますので、不断の見直しが必要であると思っておりますので、まずは現況というかたちで議論をお願いしたいと考えております。

(会長)

それでは、小委員会設置規程について承認するというところでよろしいでしょうか。

【各委員からの異議・意見なし】

(会長)

小委員会設置規程が承認されましたので、設置規程第2項にありますとおり、小委員会は審議会会長が会長になり、この会長が委員を指名させていただくことになっておりますので、ここで委員を指名させていただきます。

小委員会の指名につきましては、テクノスクールの訓練科に関係が深い、業界団体や労働組合等から選定させていただきました。秋月委員、天野委員、植田委員、掛田委員、牧野委員の5名を指名させていただきます。指名させていただいた委員の皆様には御協力のほどよろしくお願いいたします。

また、質問にもありましたが、小委員会の審議状況については、審議会へ御報告させていただき、他の委員の皆様のお意見も伺うよう努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

それでは、引き続き、議題3の今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。

【事務局から今後のスケジュールについて（資料3）について説明】

(会長)

ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明に対し、何か御意見、御質問はありませんか。

【各委員からの意見なし】

(会長)

今後のスケジュールについては、資料3のとおりとなりまして、具体的な日程については別途連絡させていただきます。

なお、小委員会では、様々な業界の個別情報などを議論させていただく場合がありますので、非公開とさせていただきます。

予定の議事がすべて終了しました。長時間にわたり議事進行に御協力いただき、ありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

(事務局)

太田会長、長時間にわたる議事運営、ありがとうございました。

【経済産業部 大学・産業創生統括監兼副部長挨拶】

(事務局)

本日の徳島県職業能力開発審議会 総会は、これで終了いたします。